

新潟市民病院 公開・オプトアウト書式

テンプレート

申請番号 19-090	
研究課題名	直腸癌側方郭清後に側方郭清腔への内ヘルニア発症リスクの評価
情報の利用目的及び利用方法(他の機関へ提供される場合はその方法を含む。)	直腸癌側方郭清後に側方郭清腔への内ヘルニアが発症することはきわめてまれですが、腹腔鏡手術のような低侵襲手術に多い可能性が示唆されております。発症頻度やリスクについて評価検討する研究です。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行います。研究の成果は学会や専門誌などの発表に使用することがありますが、個人情報公表されることはございません。
利用または提供する情報の項目	診療記録、検査結果、画像所見、手術記録、手術動画
対象者及び対象期間	2002年から2019年までに直腸癌手術が施行された患者の内、上記内ヘルニアを発症した症例
利用の範囲	新潟市民病院 消化器外科
試料・情報の管理について責任を有する者	新潟市民病院 消化器外科 上原拓明
問い合わせ先	新潟市民病院 消化器外科 上原拓明 Tel 025-281-5151
共同臨床研究機関	
備考	